

## 《今月の予定》

- 2日(月) 夏服着用 教育実習開始(～20日、実習生9名) 幼稚園実習開始(～30日)
- 6日(金) 全校集会
- 8日(日) 危険物取扱者試験・日商簿記検定
- 10日(火) 作新大・帝京大他見学(3年)
- 11日(水) 第1回校内模試
- 13日(金) キャリア教育(1年) 性感染症予防講話
- 14日(土) PTA教養講座
- 15日(日) 珠算電卓実務検定
- 16日(月) 保護者懇談会(～20日、短縮授業)
- 22日(日) 簿記実務検定
- 24日(火) 防災訓練
- 28日(土) PTA教養講座  
家庭科技術検定 食物1級 洋服2級
- 29日(日) ビジネス文書実務検定



## 部長挨拶

情報科学部部長 金田 利夫

情報科学部は、新入生488名を迎え、3学年合わせて1490名で新年度をスタートしました。

『自らの意志で生き方を決定し、自立した人間として社会に貢献できる人材を育成する』これが情報科学部の教育理念です。

情報科学部では、生徒諸君が、高校生活3年間の中で、社会における自分の立ち位置をしっかりとイメージし、進路決定と進路実現を確実なものとするように、教員一同、全力で取り組むよう申し合わせています。

昨年度は、県内の高校生合格者として唯一、危険物取扱者甲種に自動車整備士養成科の生徒2名が合格しました。また、美術デザイン科では、独立行政法人造幣局主催の国際コイン・デザイン・コンペティション2013で学生部門第1位にあたる『フューチャー賞』を受賞し、高資格取得や各種コンクール入賞など、生徒諸君の活躍が目立つ1年でもありました。

さて、今年度、情報科学部では新たに2つのことに取り組みます。



1つは、1年生に対し、小中学校範囲の学び直しを徹底して行い、就職試験や専門学校・大学・短大の推薦入試に通用する基礎学力の充実をはかっていきます。そして、その上で、各種検定試験の高資格取得を奨励し、それに向けての徹底的な指導を行い、合格に導き、生徒諸君の自信にもつなげていきたいと考えています。さらに、もう1つは「5S運動」(整理・整頓・清掃・清潔・躰)を実践し、社会人・職業人としての自覚と良い習慣を身に付けます。一つ目の整理は、ただ、ものを片づけるだけではなく、現在の情報化社会において、自分にとって本当に必要な情報が何かということの取捨選択ができる能力を身に付けます。二つ目の整頓は、整理したものや情報をいつでも利用できる、使える状態に整えることであり、三つ目の清掃は、それら整理・整頓を維持できる、習慣化できる能力を身に付けます。そして、四つ目の清潔は、自らの健康管理と頭髪・服装整備を含めた身だしなみができること。五つ目の躰は、挨拶、時間厳守、礼儀正しい言動ができるようにすることを身に付けます。これが、情報科学部の推進する『5S運動』です。

今年1年、共に進化するよう頑張りましょう。

## 校外学習(遠足)実施

5月8日(木)  
遠足の思い出 C3-1 久野 孝

高校最後の遠足は、朝から快晴で、心も晴れやかな気分です。バスの中ではみんな思い思いの時間を過ごし、無事にディズニーシーに到着。そこからは、班別行動でいろいろなアトラクションに乗ったり、期間限定のお土産を買ったり、大満足でした。この爽やかな一日を私たちは忘れません。



## 第3学年就職講話・ 大学短大専門学校説明会

5月14日(水)、聴蛙館において就職希望者260人を対象に、青木啓治主幹の話をはじめとし、栃木県警察官、自衛官、宇都宮公共職業安定所の方から試験の説明やお話しをしていただきました。

いっぽう円形体育館では、(株)さんぼうの土橋英生氏による『学校選択と受験校の決定』というタイトルで講演が行われました。269人の進学希望者全員が講師の話に耳を傾け熱心にメモをとっていました。そして講演後の2回の分科会では自分の進路を意識し、興味深く聞き入っていました。



## 宇都宮ブリッツェンによる交通安全教室 実施責任者 木村 健二教諭

5月13日(火)の5・6時限目、総合体育館にて高等学校3部の1年生(1174名)を対象とした(平成26年度の)交通安全教室が実施されました。

当日は、プロサイクルロードレースチーム『宇都宮ブリッツェン』の廣瀬佳正ゼネラルマネージャーと青柳憲輝選手が講師として来校してくれました。両選手は、本校のOBで宇都宮市出身ということもあり、生徒たちも活躍している先輩の話真剣に聞いていました。安全教室の内容としては、まず基本的な交通ルールを確認する交通安全〇×クイズから始まりました。クイズでは、メインスタッフとして当日参加された宇都宮市の生活安心課交通安全グループの方々により、事故の様子を実演するなど、大変わかりやすく楽しみながら交通ルールを学ぶことができました。また、ブリッツェンのお二人からは、実際の事故の経験をお話いただき、ヘルメットの重要性なども再確認することができました。後半は、生徒が実際に自転車に乗って、実技体験をしました。携帯や傘さしによる片手運転や二人乗り、飲酒体験ゴーグルなどにより、危険な状態の再認識をすることができました。自転車での事故はいつ起こるかわからないだけに、今回の安全教室は自転車の安全運転について考える、大変良い機会となりました。



情報科学部での高校生活は  
“生き方探しの3年間”